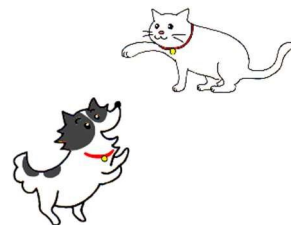




診断結果の発表じゃ！先ほどの①～⑧までの質問で、『○』が多かった人には『猫』、『×』が多かった人には『犬』が向いておるぞ！その理由を解説していこう。



① 一人で静かに過ごすことが好き

⇒猫は一般的に、犬と比べると鳴き声が小さく、走り回ることも少ないので、静かに過ごしたい人に向いておるぞ☆ただし、発情期には大きな声で鳴くので早めの避妊去勢手術がおススメじゃ！また年齢が若いと運動量が多く走り回る猫もいるぞ！

犬は散歩が必須で、ボールやおもちゃでの遊びを取り入れた運動も好きな傾向があるのでワイワイ楽しく遊びたい人向けじゃ



② ペットの留守番時間が長い

⇒猫は比較的 1 頭で過ごすことができる動物じゃ。ただし子猫は遊びたい盛りなのと、ごはんをあげる回数も多いので要注意！

犬は 1 頭での留守番は苦手な子が多いぞ。飼主さんがいないと、いたずら・食糞・頻繁に鳴くなど情緒不安定になることも…

なので、留守番時間が長い家庭では、おとなの猫を選ぶことを勧めるぞ。

③ どちらかというとインドア派。休みの日は家の中で過ごすことが多い

⇒猫は室内飼育推奨で、散歩も不要のため、1 日中家で過ごしていてもOKじゃ☆

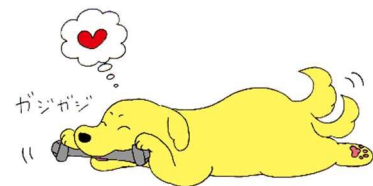
対して、犬は散歩が必須じゃ！寒くても外でアクティブに遊ぼう！暑い日は早朝や夜など気温が下がった時を狙って行くのがおススメじゃな。

④ 毎日忙しくて自分の時間は少ない

⇒猫は最低限、ごはんとトイレのお世話ができれば一緒に暮らせるぞ。（とはいえ、おもちゃで遊ぶこともしてほしいがの…）

犬は毎日の散歩と、しつけのために時間をかけてトレーニングが必要なんじゃ。その時間が確保できるか、自分の生活をよく考え直してみるとよいぞ。

ただし、犬も猫も病気になれば動物病院への通院などで時間は取られる。忙しくて病院に行けない、は理由にならんのだじゃ！



⑤ ベタベタされるのは好きじゃない

⇒猫は一般的に、マイペースで自由気ままに生活するタイプが多いので、ベタベタされることが苦手な人向けじゃ。ただし、中にはスリゴロかまってちゃんな猫もおるぞ。

犬は基本的に飼主さんに甘えたい！かまってほしい！というタイプが多く、顔や手をペロペロ舐めて愛情表現するぞ！

⑥ 生活リズムが不規則になりがちだ

⇒犬も猫も一緒に暮らす上では、毎日の生活リズムを整えることが大切じゃ。

ただ、猫によっては、好きな時間に食べて寝て、と自分のペースで生活するタイプもいるので、飼主さんの生活リズムが影響しづらいといった傾向はある。

対して犬は、ごはんや散歩の時間が習慣化されやすいため、いつもの時間にごはんや散歩がないとストレスでいたずらしちゃうかもじゃ。就寝が遅くなっても、翌朝の散歩はしっかり行けるかな？



⑦ 体力や筋力に自信がない

⇒猫は一部の猫種を除いて体格が大きくなりにくいので、動物病院への通院時や介護には 5kg くらいの荷物が持てる体力があれば OK じゃ。犬のように散歩も不要じゃから、体力に自信がなくても、日常生活を送ることができる人なら大丈夫じゃろう。

犬は散歩に行くための体力が必須じゃ！また、大型犬を飼う場合は、体重が 30kg を超える犬もいるので、将来的な介護の際には抱っこしてのお世話ができるかも考えておこう。

⑧ ペットの飼育環境として、部屋の広さよりも高さを確保できる

⇒猫は上下運動が得意な動物なんじゃ。キャットタワーやキャットウォークを用意してあげると GOOD じゃよ☆高さといっても、通常のお部屋の高さがあれば十分じゃ。ただし、高いところに置物やお花などを飾っていると猫に落とされちゃうかも？

犬は、部屋内を移動できる広さがあると望ましく、しいて言うなら走り回れる広さがあるとなお GOOD じゃ☆寝床やトイレを置いても遊べるスペースは確保できるかな？



⑨ お世話をするよりされる方が好き

⇒この項目に○がついた人は犬猫を飼うことを考え直した方がいいかもしれん。

飼主となれば、犬猫のお世話は必須じゃからな。お世話をする方が好きだと思えるようになったら犬猫の飼育を考えてみよう。

⑩ いざという時の貯えがあまりない

⇒この項目に○がついた人も犬猫を飼うことを考え直した方がいいかもしれん。飼い始めの頃にかかる費用だけでなく、ごはんなど日常のお世話でもお金はかかるし、病気になればまとまった金額が必要になるんじゃ。一生涯治療が必要な病気になった時、自分たちの生活を守りながら通院する金銭的余裕はあるかな？

みんな犬か猫どちらが向いておるか傾向はわかったかな？

あくまでこれらは一般的な話になるので、犬にも猫にも個性があることを理解した上で、犬猫たちとの生活をイメージして飼い始めよう！

